

社会資本総合整備計画評価審議資料

**【道路維持課】**

説明資料（パワーポイント）

②社会資本の安全性が高く安心して暮らせる岐阜県づくり

事後評価  
社会資本総合整備計画

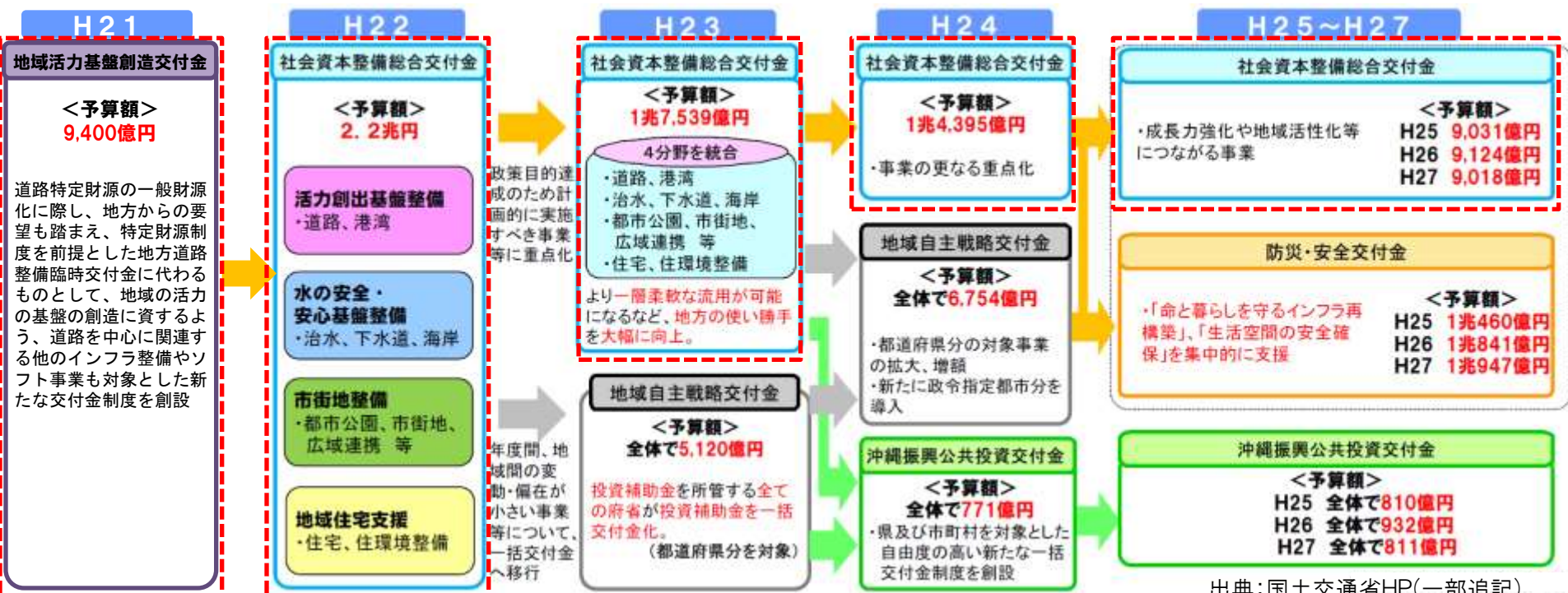
活力創出基盤整備  
【社会資本の安全性が高く安心して暮らせる岐阜県づくり】



国土整備部道路維持課  
平成27年11月

# 岐阜県社会資本総合整備計画評価実施要綱

- 国土交通省所管の交付金制度については、以下のとおり変遷してきた。
- 本計画は、下図赤枠のとおりに推移しており、初年度は地域活力基盤創造交付金事業として、その後は社会資本整備総合交付金事業として進められてきたところ。



出典：国土交通省HP(一部追記)

本計画の該当する交付金

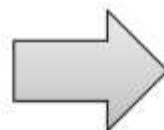
■社会資本整備総合交付金は平成22年度に創設された交付金であり、従前の補助事業と異なり、計画に位置付けられた事業の範囲内で、地方公共団体が国費を自由に充当することが可能となるなど、地方公共団体にとって自由度が高い制度である。

## 概要

- ◇社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって**自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金**として平成22年度に創設。
- ◇活力創出、水の安全・安心、市街地整備、地域住宅支援といった政策目的を実現するため、**地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画**に基づき、目標実現のための**基幹的な社会資本整備事業**のほか、**関連する社会資本整備等**を総合的・一体的に支援。

【平成26年度補正予算：25億円、平成27年度予算 9,018億円】

## <従前の補助金>



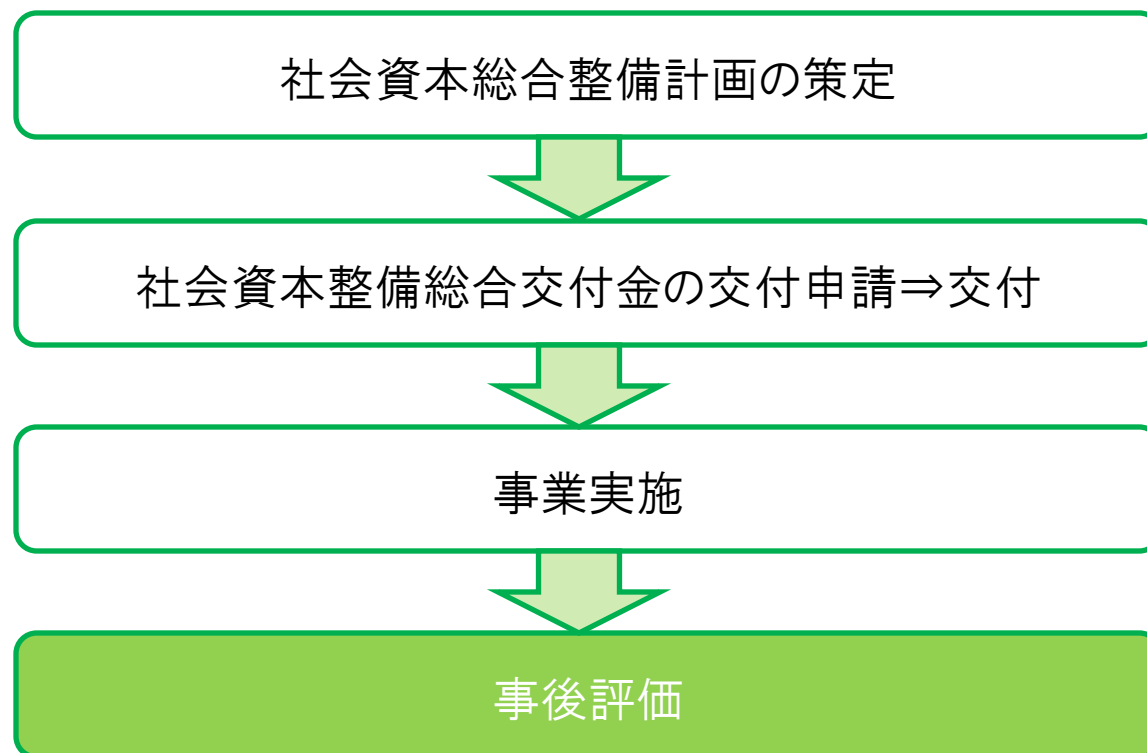
社会資本整備総合交付金

個別補助金を原則廃止

## 特長（従前の補助金との違い）

- ◇これまで事業別にバラバラで行ってきた関係事務を一本化・統一化
- ◇計画に位置付けられた事業の範囲内で、地方公共団体が国費を自由に充当可能
- ◇基幹となる社会資本整備事業の効果を一層高める事業についても、創意工夫を生かして実施可能

- 社会資本総合整備計画は、その要綱に従い、交付期間の終了時に、目標の実施状況等について評価を行うこととされている。(社会資本整備総合交付金交付要綱 第10)
- 事後評価においては、社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況、事業効果の発現状況、今後の方針、の各事項について行うものとされている。(社会資本整備総合交付金に係る計画等について 第5項)



## ■ 計画名

社会資本の安全性が高く安心して暮らせる岐阜県づくり

## ■ 計画の期間

平成21年度～平成25年度(5年間)

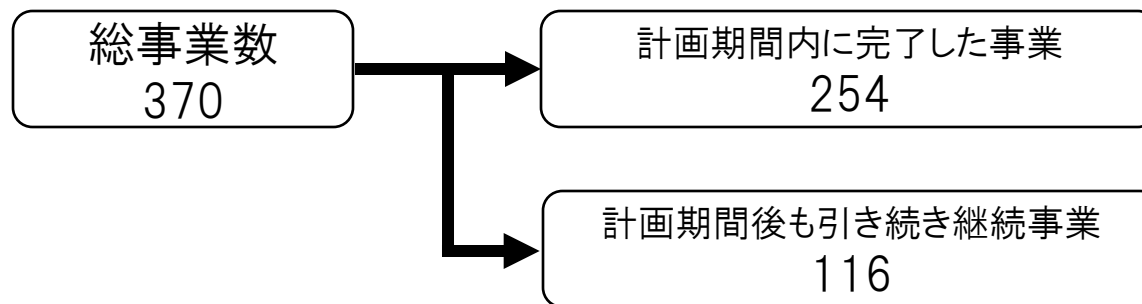
## ■ 計画の目標

社会資本の計画的な維持管理を実施するとともに、交通事故、豪雨、地震など全てへの災害への備えが整った地域づくりを進め、併せて環境負荷の少ない持続型の社会づくりを行うなど、子供から高齢者まで、すべての人が安全で安心して暮らせる地域を形成する。

## ■ 計画の成果目標

- ・ 県管理道路の死傷事故を、約1割削減する。
- ・ 県管理道路に対する県民からの意見や苦情の件数を約1割削減する。(維持管理に直接関係ある件数)
- ・ 緊急輸送道路上における落石や橋梁耐震等、災害への備えのための対策率を100%実施する。

計画の名称	事業数	事業費
社会資本の安全性が高く安心して暮らせる 岐阜県づくり	370箇所	93,996百万円





## (主) 可児金山線 川辺大橋

- 整備箇所：川辺町比久見
- 橋梁延長：L=1111.9m
- 事業費：44百万円
- 整備内容：橋梁補修（塗装塗替）
- 工期：H24

岐阜県橋梁長寿命化修繕計画に基づく老朽化対策の実施により、効率的な維持補修を行った。



施工前



施工後

【塗装塗替】





## (主) 下呂白川線 白川口トンネル工区

- 整備箇所：加茂郡 白川町
- 全体延長：L=0.15km
- 事業費：7百万円
- 整備内容：はく落対策工、漏水対策工
- 工期：H25

経年劣化によるひびわれ等の損傷が、トンネル補修工事の実施により改善され、一般交通の安全が確保された。



### 施工前



### 施工中



### 施工後



## (主) 白鳥板取線 越佐・万場工区

- 整備箇所：郡上市白鳥町越佐
- 全体延長：L=3.8km
- 事業費：38百万円
- 整備内容：舗装補修
- 工期：H21～H22

ひび割れ・わだち掘れ等、劣化が著しい舗装を補修したことで、通行車両の快適性が向上した。



施工前



施工後



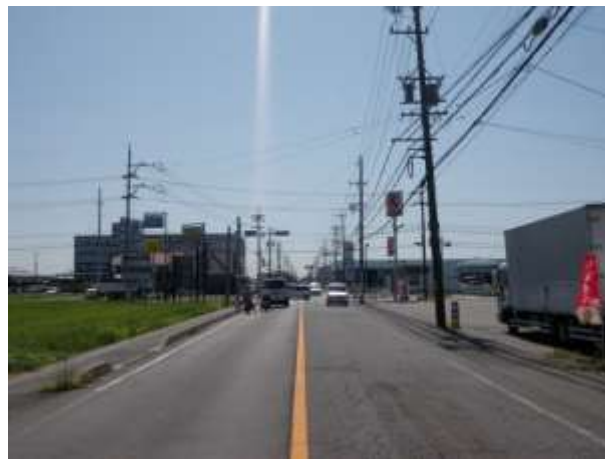
## (一) 美江寺西結線 十九条工区

- 整備箇所：瑞穂市十九条
- 全体延長：L=0.26km
- 事業費：121百万円
- 整備内容：交差点改良
- 工期：H22～H25

右折車線の確保及び歩道整備により、交差点部の安全な交通が確保された。



施工前



施工後





## (主) 金山明宝線 歩岐山橋

- 整備箇所：下呂市金山町
- 橋梁延長：L=62.0m
- 事業費：36百万円
- 整備内容：橋梁耐震（落橋防止、橋脚補強）
- 工期：H22

緊急輸送道路の防災対策として、巨大地震発生時に、橋脚の倒壊や落橋といった甚大な被害が発生しないよう耐震対策を行った。



### 施工前



### 施工後



【橋脚補強】

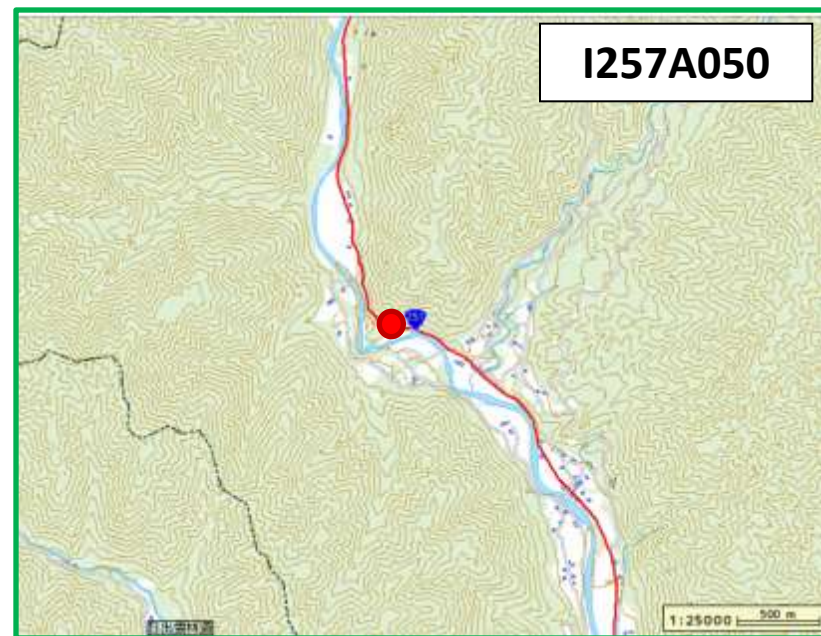
【落橋防止】



(国) 257号 黒石工区

- 整備箇所：下呂市馬瀬黒石
- 全体延長：L=0.5km
- 事業費：250百万円
- 整備内容：落石対策
- 工期：H21～H24

防災点検の評価が要対策箇所から対策不要に変わり、道路の安全が確保された。



施工前



施工後



# 計画の成果目標(アウトカム指標)の実現状況



指標	単位	定義及び算定式	従前値		目標値		結果		適用
				基準年度		目標年度		年度	
死傷事故削減数	件	県警の統計データより、県管理道路の死傷事故件数削減割合を算出する。 $\left[ \frac{(\text{H20年件数} - \text{H25年件数})}{\text{H20年件数}} \right] \geq 0.1$	約4,500件	H21	約4,000件	H25	約3,700件	H25	達成
苦情件数削減数	件	苦情データベースより、苦情件数削減割合を算出する。 $\left[ \frac{(\text{H20年件数} - \text{H25年件数})}{\text{H20年件数}} \right] \geq 0.1$	約1,500件	H21	約1,350件	H25	約1,000件	H25	達成
緊急輸送道路上の落石、橋梁耐震対策率	%	緊急輸送道路上における要対策箇所(落石、橋梁耐震)の対策率から算出する。 $\left[ \frac{(\text{H20年まで対策件数} + \text{H21年以降対策件数})}{\text{要対策件数}} \right]$	83%	H21	100%	H25	95%	H25	未達成



## ◆ 効果の発現状況

### 【定量的指標に関連する効果の発現状況】

- ・ 交差点改良や歩道整備などの交通安全対策や、計画的な舗装補修などの対策を行うことにより死傷事故、苦情件数を1割以上削減することが出来たとともに、緊急輸送道路上における落石、橋梁耐震対策についても概ね事業効果は発現されたと考えられる。

### 【定量的指標以外の効果の発現状況】

- ・ 本県では膨大な道路施設を管理しており、そのうち多くの施設で老朽化が進む中、定期的に点検を行うとともに、点検結果を反映した修繕計画に基づく計画的な補修等の対策を行うことにより、地域の安全・安心の向上に寄与するものと考えられる。

## ◆ 今後の方針

- ・ 本整備計画は完了するが、引き続き、社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金にて、事業を継続し、県民が安全で安心して暮らせる地域づくりを進める。